

第7回

データマネジメント人材の育成に関するタスクフォース

2025年12月15日

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課

独立行政法人 情報処理推進機構

議事次第

1. 開会（10分）

- （1）前回の振り返り

2. 議事・確認事項（60分）

- （1）データマネジメントのスキル項目の確認（10分）
- （2）他類型とのスキル重要度調整、その他改訂の進め方の確認（20分）
- （3）プロモーション（30分）

3. 閉会（20分）

- （1）主査・委員の皆様からのコメント

1. 開会

前回の内容（サマリ）

◆ 特に全体の構成等に関わる部分は以下の通り（事前のご依頼で共有したスキル修正案でも一部既に反映済み）

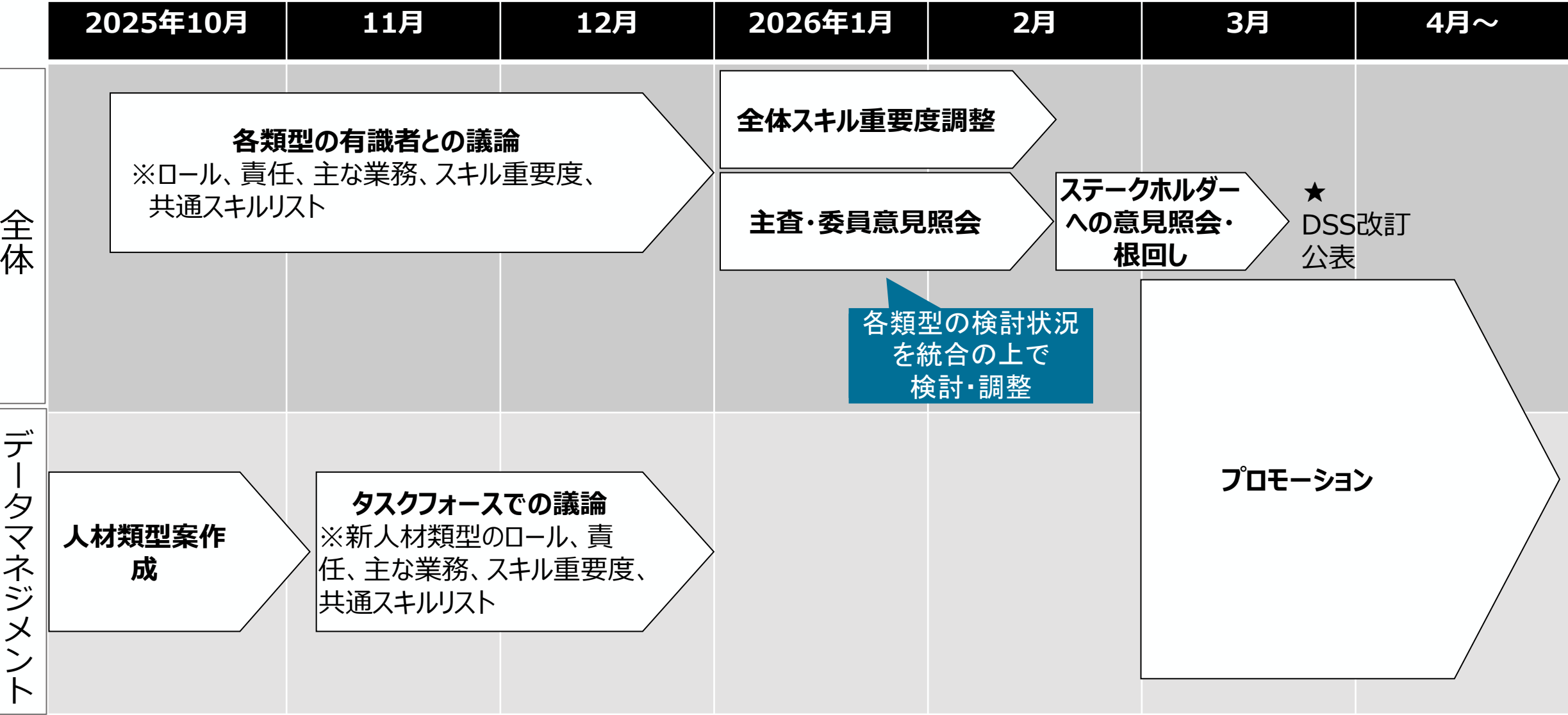
＜スキル項目関連＞

- データマネジメント・データ活用をビジネスに貢献／事業ドメインにおいて推進スキルを追加する（データスチュワードの重要度a）
各スキルの文言が構造化データが対象となっているように見えるので、非構造化データも含めて扱うことがわかるように文言を修正する。
- スキルの重要度は縦に（ロール単位に）見たときを意識して設定する。横に見てロール間の誰が主導するかは、ロール定義の方で記載する。

＜補足資料等＞

- データマネジメントの体制・進め方については、各企業の段階によっての例がわかるように（ハードルが高く見えないように）いくつかの例を記載したほうが良い。また、役割の配置であることがわかるように（ロール＝個々の人材と見えないように）留意する。
- DSSの類型だけでなく、さまざまな役割との連携があることを示したほうが良い。
（類型間の連携の既存ページは別途扱いを検討）

DSS改訂スケジュール案



2. 議事・確認事項(1)：データマネジメントのスキル 項目の確認

スキル項目修正案

各スキル項目とロールごとの重要度

各ロールに求められる内容に加えて、DSS-Pの各人材
類型のレベル感のバランスや目標感や学習講座への影
響も考慮し、一部重要度を修正

サブカテ ゴリー	スキル項目	スキル内容	データ スチュワード	データ エンジニア	データ アーキテクト
データマネ ジメント	データ関連法令な どの理解やルール 整備と遵守の推 進	・法令・規制・倫理や組織の規程や基準を理解し、構造化・非構造化データおよびAI活用を含むデータ利 活用のルール・基準を設計するスキル ・データ管理・利用のガバナンス方針を策定し、組織へ周知・定着させるスキル ・遵守状況をモニタリングし、運用やルールを継続・改善するスキル	a	a	a
	データマネジメント の定着とデータ活 用の推進	・データマネジメントの重要性を組織に浸透させ、データに基づいた意思決定や新たな価値創出を推進する スキル ・ビジネス課題に基づきデータ活用と仮説検証の流れを設計し、事業部門と連携して業務へ適用するスキル ・データのルールや運用プロセスを組織に定着させ、適切なデータ活用を推進するスキル ・事業部門でのデータ活用におけるフィードバックに基づき、運用を改善するスキル	a	b	b
	データの品質・安 全性向上	・データ品質やメタデータの状況をモニタリング・評価し、運用を継続的に改善するスキル ・データを活用できるようにするための標準化やクレンジングの基準や方針を策定し、運用するスキル ・アクセスの権限や経路、機密保護ルール、リスク評価などの仕組みを設計・運用し、データの安全性を確保 するスキル	a	b→a	b
	データエンジニアリ ング（設計・収 集・統合・提供）	・異なる収集元からのデータを一貫性や整合性を持つように統合し、様々な目的に活用できる状態に整備 するスキル ・様々な種類のデータ（構造化データ・非構造化データなど）を利用者が効率的に活用できるようにするた めのデータパイプラインを設計・構築するスキル	c	a	b→a
	データマネジメント の仕組みの設計と 改善	・組織全体で一貫したデータの流を実現するデータアーキテクチャを設計するスキル ・データの収集・保存・利用・廃棄のプロセスを策定するスキル ・データの品質や運用状況、活用の効果をモニタリングし、アーキテクチャを改善するスキル	c	b	a
	データ基盤の設 計・実装・運用	・効率的かつ効果的なデータの整備と活用を実現する「データ基盤」を整備・改善するスキル	d	b	c

※重要度a:高い実践力と専門性が必要/b:一定の実践力と専門性が必要/c:知識として説明可能なレベルでの理解が必要/d:体系として全体の中での位置づけや、
他項目との関連の理解が必要

スキル項目 学習項目例案

事前にいただいた意見を元に追記・修正

学習項目例案

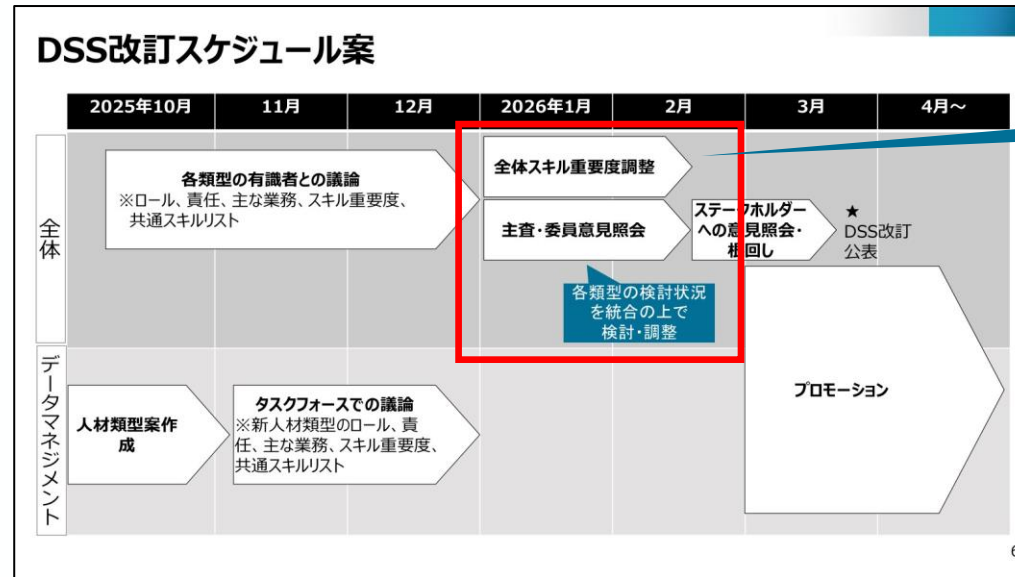
サブカテゴリー	スキル項目	スキル内容	学習項目例
データマネジメント	データ関連法令などの理解やルール整備と遵守の推進	- 法令・規制・倫理や組織の規程や基準を理解し、構造化・非構造化データおよびAI活用を含むデータ利活用のルール・基準を設計するスキル - データ管理・利用のガバナンス方針を策定し、組織へ周知・定着させるスキル - 遵守状況をモニタリングし、運用やルールを継続・改善するスキル	AI法、知的財産法、個人情報保護法等の国内法令、海外法令や標準、業界や組織の規制・規程など各種ルール、データガバナンス、AIガバナンス、データ主権、ELSI
	データマネジメントの定着とデータ活用の推進	- データマネジメントの重要性を組織に浸透させ、データに基づいた意思決定や新たな価値創出を推進するスキル - ビジネス課題に基づきデータ活用と仮説検証の流れを設計し、事業部門と連携して業務へ適用するスキル - データのルールや運用プロセスを組織に定着させ、適切なデータ活用を推進するスキル - 事業部門でのデータ活用におけるフィードバックに基づき、運用を改善するスキル	ビジネスとデータの関係性、事業内容・業務プロセスごとのデータ活用事例、データ戦略・データ活用におけるKPI設計、データ活用による価値創造のシナリオ設計、社内外を含む組織横断のデータ活用
	データの品質・安全性向上	- データ品質やメタデータの状況をモニタリング・評価し、運用を継続的に改善するスキル - データを活用できるようにするための標準化やクレンジングの基準や方針を策定し、運用するスキル - アクセスの権限や経路、機密保護ルール、リスク評価などの仕組みを設計・運用し、データの安全性を確保するスキル	データ品質（一貫性・正確性・鮮度・完全性など）、データカタログメタデータ、データの正規化・名寄せ、データセキュリティ、データのリスク評価（機密性・インパクトなど）、トラスト管理（アクセス、署名など）
	データエンジニアリング（設計・収集・統合・提供）	- 異なる収集元からのデータを一貫性や整合性を持つように統合し、様々な目的に活用できる状態に整備するスキル - 様々な種類のデータ（構造化データ・非構造化データなど）を利用者が効率的に活用できるようにするためのデータパイプラインを設計・構築するスキル	データの定義（用語、ID、更新頻度など）、データ統合、セマンティック技術、ナレッジグラフ、データの機械可読性（AI-Readyデータ）、構造化データ・非構造化データの特長、ETL/ELT、データパイプライン、データマート
	データマネジメントの仕組みの設計と改善	- 組織全体で一貫したデータの流れを実現するデータアーキテクチャを設計するスキル - データの収集・保存・利用・廃棄のプロセスを策定するスキル - データの品質や運用状況、活用の効果をモニタリングし、アーキテクチャを改善するスキル	データアーキテクチャ、データリネージ、参照データ、データライフサイクル管理、データ契約、データプロダクト
	データ基盤の設計・実装・運用	効率的かつ効果的なデータの整備と活用を実現する「データ基盤」を整備・改善するスキル	データベース（RDB、ベクトル、グラフなど）、API管理、スキーマ管理、DWH、データレイク、データメッシュ

2. 議事・確認事項(2)：他類型とのスキル重要度調整、その他改訂の進め方の確認

他類型とのスキル重要度調整

各ロールの主たる内容

- ◆ 本TFではデータマネジメントのスキル項目とロールについてのみ議題としており、以下の2点はTF内では議論せずに主査及び事務局に一任いただきたい。
 - ・ データマネジメントスキルの、他類型のロールにおける重要度
 - ・ データマネジメント以外のスキルの、データマネジメント類型の3ロールにおける重要度



1月以降に調整予定

- ◆ 上記に関して、スキルの重要度の設定などについてご意見等あれば伺いたい。
但し他類型の検討により各所でスキル項目も変更される見込みであるため、以下のような粒度感でご検討いただきたい。
例) ソフトウェアエンジニア類型でもデータマネジメントのスキル項目は一部高い方が良い
ビジネス変革のスキル項目は、データスチュワードも高めのほうが良い 等

その他の改訂の進め方

各ロールの主たる内容

◆ 前回TFにおいて、補足資料としての追加案としてご意見をいただいた件については、以下の趣旨を**類型・ロールの定義**の文章に含めることとし、**補足資料としては追加しない**。

- ◆ **＜データマネジメントの進め方・体制＞** データによる価値創出をより効果的に実現するためには、全社横断的な仕組みの構築と、事業部門ごとの業務におけるの実行の両方を推進できることが望ましい。ただし、組織体制や各ロールの配置方法は、企業の規模や戦略、DXの成熟度などによって異なるため、企業ごとに実態に即した進め方が求められる。
- ◆ **＜各役割・機能との連携＞** データマネジメントは、様々な機能と連携し、データの流通や活用の仕組みを浸透・推進することが必要である。

◆ その他類型・ロールに関する詳細な文言などは、これまでにいただいたご意見やスキル項目の内容をベースに作文することとし、こちらは事務局の責任編集として一任いただきたい。

データマネジメントとは

定義

データの安全性・信頼性の確保と継続的な流通の仕組みの設計・実装・運用を行い、組織全体の人材を巻き込んだデータの利活用・価値創出を促進する人材

◆ DXの推進における「データマネジメント」とは

✓ データにより新たな価値を創造するためには、組織の事業・業務プロセスにおいて発生するデータを人・システムなどが活用できる状態を継続的に確保し、運用していくことが重要となる。そのためデータの安全性や信頼性を確保し、またそのデータを組織の様々な目的に対して活用できるようにした上で、継続的に収集・提供させる仕組みを設計・実装・運用することが求められる。

✓ 「データマネジメント」の類型は、そのためのデータマネジメントの仕組みや運用を組織に対して浸透させ、データを人間だけでなくデジタル技術・サービスとしていづれにともって活用可能な状態を整備し、データ基盤などのアーキテクチャの設計・整備・実装とともにデータの安全性・信頼性の確保と継続的な収集・提供を可能にし、さらに組織全体の人材を巻き込みデータの利活用・データからの価値創出の行動を促進させる役割を担う。

◆ 様々な役割・機能との連携による組織基盤としての「データマネジメント」の構築

✓ データマネジメントは、経営や事業・サービス運営、顧客・利用者との接点や現場の業務、レポート、IT・デジタル、リスク・コンプライアンスなど、DSSの各人材類型・ロールにとどまらず、組織内の多様な機能・役割と連携することが重要である。各領域と対話しながらデータマネジメントの仕組みを共に構築・改善していくことで、データ活用にもとづき組織全体の価値創出と意思決定を支える。

✓ さらに、それぞれの事業活動におけるニーズ・課題・現場の知恵を、データマネジメントの仕組みや運用と結び付けていくことが求められる。そうした相互の連携を継続して重ねることで、データマネジメントは組織基盤の全社的な取り組みとして育っていく。

✓ そのためには、全社横断的な仕組みの構築と、事業部門ごとの業務におけるの実行の両方を推進できることが望ましい。ただし、組織体制や各ロールの配置方法は、企業の規模や戦略、DXの成熟度などによって異なるため、企業ごとに実態に即した進め方が求められる。

データマネジメントのロール定義イメージ（抜粋）

ロール	データチューワード
DXの推進において担う責任	データの意味・定義・品質・利用ルールを各事業・業務の言葉で明確化し、事業部門におけるデータ活用が安全かつ一貫した形で行われるようにすることで、データに基づく意思決定や新たな価値創出を支える。
主な業務	・ 事業でのデータ活用状況を理解し、データ品質の維持・向上や安全性の確保におけるデータのルールや基準の整備、および運用を実行する ・ 完全性・一貫性・妥当性・鮮度などの品質要件とデータ品質ルールを定義し、品質モニタリングの構築に基づき、原因分析および改善アクションの調整を行う ・ 事業部門や連携先とデータマシンの仕組み（データ定義・品質ルール・アクセス制御等）を協定し、業務実装や情報連携の際にデータの品質確保と調整を行う ・ データアーキテクチャ設計と連携し、ビジネス要件を満たすデータ構造・パイプライン・データカタログの活用を促進しフィードバックを提供する
ロール	データエンジニア
DXの推進において担う責任	ビジネスや分析・AI 活用に必要なデータが、適切な品質・タイミング・セキュリティ水準で利用できるように、データの整備やデータパイプラインなどの設計・実装を行い、組織全体のデータ活用を継続的に支える
主な業務	・ 入出力（集約・サービス・システム等）やデータの種別（構造化・非構造化等）を様々なデータを利用できるような状態に統合・整備することを主導する ・ 適切な品質やタイミングでデータを提供・活用するためのパイプラインの設計・実装を行う ・ データストリムと連携し、パイプラインやデータストアにおける構成情報やデータの流れるメタデータを整備、活用してデータカタログの鮮度と信頼性を高める ・ データアーキテクチャ設計と連携し、ビジネス要件を満たすデータの活用や高いデータプロセッサの提供の仕組みを構築する
ロール	データアーキテクト
DXの推進において担う責任	組織・事業全体のデータ構造・流れ・接続を把握し、事業戦略やデータ戦略に沿ったデータアーキテクチャを設計・維持することで、分散されたデータを「つながる形」にし、全社横断的なデータ活用が円滑に実現される。
主な業務	・ 組織全体におけるデータの流れ・ライフサイクルや運用プロセスなどのデータアーキテクチャを設計し、データ活用の仕組みや役割分担を明確にする ・ 部門間システム間のデータ連携において、提供・受領するデータ項目や品質水準、更新頻度などの要件をデータ契約として整理する ・ データストリムと連携して、業務上の意味や用途とデータ構造との整合性をとり、データエンジニアと連携して実装可能な活用しやすい設計に落とし込む

11

2. 議事・確認事項(3) : プロモーション

プロモーション目次

1. プロモーション戦略アイディアリスト 振り返り（第4回資料再掲）
 - 認知度向上のための施策
 - 実行度向上のための施策
2. 現在検討中の施策についてご報告
 - データマネジメント2026 カンファレンス
3. 今後検討する施策の共有・意見交換

1 プロモーション戦略アイディアリスト 振り返り（第4回資料再掲）

認知度向上のための施策（1/2）

No	主体	Target	試験	職種	プロモーション施策	協力者
1	大学	学生	○		データサイエンス学部で学生向けに試験の受験を推奨	
2	民間団体	DX推進企業・DX関心企業	○	○	「データマネジメント」関連イベントの実施及び周知	
			○	○	SNSキャンペーンでの認知啓発	
			○	○	研究会やコミュニティ等を通じてプロモーション	

1 プロモーション戦略案 振り返り（第4回資料再掲）

認知度向上のための施策（2/2）

No	主体	Target	試験	職種	プロモーション施策	協力者
3	経済産業省・IPA	DX推進企業・DX関心企業	○	○	各種団体・企業のセミナーを活用したプロモーション	①各種団体（経団連他） ②DX研修実施企業
				○	DX推進・関心企業への啓蒙活動	
				○	イベント実施（セミナー、基調講演、ユーザー企業とのパネルディスカッション）	各種団体等
		転職サービス事業者		○	企業・転職者にプロモーションを行うための呼びかけ	
		当該人材を目指す当事者		○	影響力の有る人物の事例やインタビューをYouTubeやSNSを用いて公開	①ユーザー企業の経営者 ②インフルエンサー
				○	採用関連で目にする機会を増やす	転職サービス事業者
			○	○	高校・大学向け出前授業	
			○		試験無償化キャンペーン実施	
		社会全体	○		メディア等に試験関連情報を掲載	企業経営者（トップインタビュー等）
			○	○	野外広告、デジタルサイネージ等	
			○	○	国家戦略としてのアピール（政府広報（DXレポート）、産官学連携の集会等）	

1 プロモーション戦略案 振り返り（第4回資料再掲）

(育成促進を含む) 実行度向上のための施策

No	主体	Target	プロモーション施策	協力者
1	企業	自社職員	① 会社・上司から試験の受験を慫慂 ② 社内の学習環境（WBT等）を提供 ③ 情報交換コミュニティを組成	
			① 事業会社のデータマネジメント人材の事例紹介（SNS等） ② 試験の学習方法を公開（SNS等） ③ KGI、KPIを設定する	
		DX推進企業	① 中途採用の募集要項に「データエンジニア」を設置 ② 人事評価制度への組み込み （事例として取材・記事を情報発信 等）	
2	民間団体	DX推進企業・DX関心企業	① 「データマネジメント」関連イベントの実施及び周知 ② 「データマネジメント賞」への参加促進	
			① インターン受入や現場見学機会の提供 ② アドバイザー派遣	
			研修の共同開発、事例共有ワークショップの開催	
		当該人材を目指す当事者	オンライン講座（MOOC等）の提供	
3	経済産業省・IPA	DX推進企業・DX関心企業	ガイドライン、事例集等の提供・配布	
		当該人材を目指す当事者	YouTube、オンデマンド、MOOC等を利用した講義動画を無償公開	

2 現在検討中の施策についてご報告

データマネジメント2026 カンファレンス

データマネジメント 2026

AI Ready Dataに舵を切れ

オンライン開催決定！

2026年3月11日(水)

京王プラザホテル 事前登録制・無料



基調講演【午前】

生成AI時代のデータマネジメント

東京大学大学院 人工物工学研究センター 特任教授
Preferred Networks 取締役
丸山 宏 先生 登壇決定！

基調講演【午後】

モビリティカンパニー変革に向けた取り組み

ウーブン・バイ・トヨタ株式会社
代表取締役
隈部 肇 氏 登壇決定！

特別講演

※本講演は、カンファレンス登録者限定でオンデマンド配信を予定しております。

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
デジタル基盤センター
デジタル基盤センター長
平本 健二 氏

パネルディスカッション

「データマネジメント人材育成」強化の道筋
日本企業の現状課題と国家試験への期待(仮)

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長 渡辺 琢也 氏
独立行政法人情報処理推進機構（IPA）上席執行役員 内田 了司 氏
株式会社三菱UFJ銀行 デジタル戦略統括部 副部長 藤咲 雄司 氏
株式会社リクルート プロダクト開発 データ推進室 Vice President 阿部 直之 氏
KDDI株式会社 経営戦略本部 Data&AIセンター センター長 木村 壘 氏
〔司会〕一般社団法人日本データマネジメント・コンソーシアム 発起人 大西 浩史

3 今後検討する施策の共有・意見交換

1. 経済産業省

- DX銘柄表彰式
- 大学関係へのプロモーション

2. IPA

- DSS改訂動画（YouTube）
- オールドメディアへのプロモーション

3. 閉会

- ・主査・委員の皆様からのコメント**